

# 総合診療歯科治療のための 細菌感染・免疫学講座

振返り視聴

2月24日～5月末まで

※継続ポイント2P付与されます

## 【講師】



高橋慶壮先生  
奥羽大学教授



山口孝二郎先生  
昭和大学医学部客員教授



浜田信城先生  
神奈川歯科大学教授



齋藤 淳先生  
東京歯科大学教授

## 【演題】

### 高橋慶壮先生 / 口腔内における免疫環境 -インプラント治療で考える-

インプラント周囲炎はインプラント治療失敗の第一要因です。インプラント周囲炎には歯周炎に比較して、自然免疫の関与が大きいと考えられています。一方、疫学研究から、インプラント周囲炎の発症頻度は報告間の差が大きく、細菌感染に加えて、歯周炎の重症度、術者の技量や補綴的要因が関わるなど、歯周炎とは異なる病態を示しています。本講演では、歯周病患者のインプラント治療の実際、インプラント周囲炎に関わる免疫応答の特徴および意義について解説します。

### 山口孝二郎先生 / 口腔領域の疾患と免疫 -生薬から考える漢方医学的対応-

神経・内分泌・免疫系と気・血・水の関係、免疫と心因反応を通し口腔領域疾患での漢方の利用、十全大補湯、補中益気湯等、黄連湯、半夏瀉心湯、五苓散、白虎加人参湯、白朮子(セファランチン)などの慢性再発性アフタで潰瘍性大腸炎を併発した症例、ベーチェットと口腔潰瘍、扁平苔癬の治療など生薬薬理学的な炎症コントロール、免疫応答などを解説します。

### 浜田信城先生 / 口腔内感染と免疫機構 -口腔内の細菌感染を知る-

これまでの細菌学的検索から、プラーク中に存在する細菌が健全な部位と病的な部位では構成細菌の種類や比率に違いのあることが明らかにされてきました。口腔感染症は、病原微生物が固有の機構を介して粘膜や歯の表面に付着して増殖を経て、病巣を形成します。歯周病原細菌による歯周組織細胞への刺激は、サイトカイン産生を誘導し直接的に組織破壊や骨吸収を促進して歯周病の進行に重要な役割を果たしています。細菌学的視点から、う蝕や歯周病について解説、免疫応答の意義についてお話いたします。

### 齋藤 淳先生 / 歯周病と宿主免疫応答 -治療における意義-

歯周病は多因子性疾患としてとらえられています。中でも、歯肉縁下プラーク中の歯周病原細菌とそれに対する宿主の免疫応答のバランスの乱れが、主な病因です。現在も歯周病の治療は、プラークへの対応が基本です。最近の研究の進歩により、宿主にアプローチする新たな治療の可能性も出てきました。今回、歯周病治療について基本的な内容を確認するとともに、最新の研究知見を紹介し、歯周病治療における免疫応答の意義について解説します。

## 【視聴方法】

JAOSホームページ内の「感染・免疫学講座振返り視聴動画」にパスワードを入力してご視聴いただけます。  
パスワードは2022年2月24日にご指定のメールに送信いたします。

## 【視聴費用】

11,000円(税込)

## 【申込方法】

下記に必要事項をご記入いただきFAX送信をお願いします。ネット申込みをご使用の場合には「NPO法人JAOS」で検索して研修会/セミナー情報内(イベントペイ)からお申込みください。

氏名		資格種別	<input type="checkbox"/> 第二種 / <input type="checkbox"/> 第一種
所属先			
メールアドレス	@		